



▲▶造園技能士の方の指導を受けながら、柿の木や棕の木など6種類の苗木を植える児童。来年の実のなる頃が楽しみです

いっぱい来てくれたらいいな

北部小学校 4年生児童が野鳥のために植樹

10月6日、佐賀県から愛鳥モデル校に指定されている、北部小学校の4年生児童70人が、NPO法人佐賀県射撃と狩猟振興会（野口忠之理事長）や野鳥の会の皆さんと一緒に、自然に生息する野鳥を人間の生活の中に呼び込もうと、鳥が食べる実のなる樹木の苗木15本を学校の敷地に植



えました。作業終了後に野口理事長は「鳥が住める環境は人間にとっても大事な環境です。今日植えた木をこれから先も見守ってください」と参加した児童たちに語られました。

明かりを消して地球にやさしくスローな夜を

西溪公園で月見夜楽

「自分の出来ることから環境問題を考えてほしい」と手作りロウソクの明かりの中、10月13日西溪公園で「月見夜楽」が行われました。中心となったのは多久市地域婦人連絡協議会（西山智恵子会長）。横尾市長の『環境問題について』と題した講演では、孔子の教えの中から「知（エネルギー資源が過剰になっていないか）・仁（もったいない・自分にできる事は何か）・勇（行動する）と身近にできることをお互いやるのが地球を救う方法」と話がありました。琴の演奏・多久風の会の民話・詩吟・武田節なども披露され、お団子とお抹茶のおもてなしで、参加者はお月見をし、秋の夜長を楽しんでいました。

▶満月の穏やかな光に照らされて、琴や詩吟などの音楽のひとつとき。秋ならではの静かで雅な催しでした



今年もありがとうございました

たばこ販売協同組合のみなさんの環境美化活動

小城たばこ販売協同組合（多久市・小城市：大坪幸佑理事長）のみなさんが、10月15日に多久市役所付近から北多久郵便局までの国道・県道の清掃に取り組みました。タバコの吸殻をはじめ、ジュースのパック、空き缶など、ポイ捨てされたごみを約1時間かけて丁寧に拾われました。この日集まったごみは、軽トラック車1台分。このように



市民のみなさんのたくさんのボランティア活動で、無造作に捨てられたごみは拾われ、きれいな環境が維持されています。ごみは持ち帰るか、所定の場所にきちんと捨てるなど、マナーの徹底をお願いします。



▲グリーン旗とエプロンには「ひろえば街がきれいになる」の文字。毎年の美化活動、ありがとうございます